

校訓 **かしこく やさしく たくましく**  
**さくらやま**



枕崎市立桜山小学校 11月号  
☎ (72-9883) Fax (72-6956)  
創立150年 建学の心 しんせいけいあい 真誠敬愛

感謝

校長 原口 雅也

11月10日(土)。  
創立150周年記念式典並びに記念祝賀会が無事終了しました。

本校の創立150周年記念事業に御理解くださり、これまでたくさんの御寄付をいただきました地域の皆様、卒業生の皆様をはじめとするすべての皆様に心より感謝申し上げます。

また、組織の立ち上がりから実施まで、緻密な準備を2年間にわたり真摯に進めてくださいました創立150周年記念事業実行委員会の皆さん、本当にありがとうございました。

記念式典の式辞の中で、私は子供たちにこう呼びかけました。

「皆さん一人一人が創立150周年の、この記念の年をしっかりと心に刻み、10年後、20年後、さらに50年後の創立200周年の年には、社会の中心として活躍しながら、『この桜山小学校で学べたことは私たちの誇りです。』と胸をはって言える立派な大人になっていくことを校長先生は心から願っています。」

50年後。  
2068年。  
子供たちは56歳から62歳くらい。  
(ちなみに私、104歳・・・)

今の子供たちが、大人になって、久しぶりにこの桜山小学校を訪れ、校舎や体育館の中から聞こえる子供たちの楽しそうなおしゃべりや笑い声に耳を澄ましながら微笑んでいる、そんな光景を想像すると何だかとても幸せな気持ちになるのです。



創立 150 周年記念式典

前田市長をはじめ、大勢の来賓の御臨席を賜り、記念式典を開催することができました。概要についてお知らせをいたします。

〈お祝いの言葉 前田市長 中村実行委員長〉



前田市長が、桜山小学校の卒業生ということもあり、子供たちは、先輩の話に熱心に聞き入りました。  
市長は、これまでの150年、そして、これからの桜山の未来についてお話をしてくださいました。  
中村実行委員委員長は、2年間、実行委員会をまとめ、いくつもの記念行事を実施してくださいました。

バルーンリリース 子供たちの夢と希望をのせて



記念式典後に行われたバルーンリリースでは、桜山小にちなんでピンク色の風船150球を子供たちが一斉にリリースしました。雲一つない澄み切った青空へ、ピンク色の風船が色鮮やかに飛んでいきました。子供たちは、いつまでも風船の行方を見守っていました。やがて風船は、青空に吸い込まれ見えなくなりましたが、子供たちの脳裏にはしっかりと焼き付いたのではないかと思います。  
記念式典後には、記念祝賀会が行われ、来賓や卒業生の皆さんが旧交を温めました。

〈代表児童による喜びと決意の言葉〉



各学年の代表児童が、桜山小の昔のエピソードやこれからの未来に向かって力強い一歩を踏み出す決意の言葉を発表しました。  
〈代表児童〉  
1年 前田湊士さん 2年 加藤佑梨さん 3年 茅野武志さん  
4年 猪谷真澄さん 5年 立石翔陽さん 6年 茶屋道ひなつさん



〈記念碑除幕式〉

児童・保護者から募集し、全校児童で選定した言葉「桜咲く 笑顔咲く 希望も咲く」の文字を記念碑に彫っていただきました。  
除幕式では、各学年の代表児童6人が、紅白の綱を引き除幕しました。真っ白な幕の中から現れた記念碑は、黒御影石に金色で彫刻されたとても美しい記念碑です。  
正面玄関横に設置してありますので、ぜひご覧ください。

